

複合庁舎整備の基本理念

五霞町複合庁舎「共に未来へ歩むキラリベース」

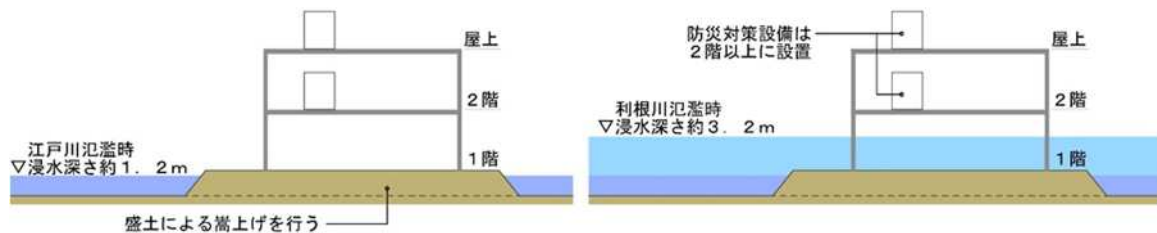
～自然と共存し、五霞町らしく、愛着を持って住民と共に未来を創造する拠点～

1 基本事項

計画地	五霞町大字小福田（現中央公民館敷地）
敷地面積	約 21,200 m ²
床面積等	2階建て 3,920 m ² （複合庁舎の延床面積目標値）
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ○町民の新しい居場所となる複合庁舎 ○平時にも非常時にも安心して利用できる複合庁舎 ○柔軟な使われ方ができる効率的な複合庁舎 ○町の自然に溶け込む快適な複合庁舎 ○建物のトータルコストを縮減できる経済的な複合庁舎

2 土地利用

- 現中央公民館を使いながら複合庁舎を建設します。
- 現中央公民館の敷地にある平地林は、庁舎利用者の安全面に最大限の配慮をしながら、可能な限り保全します。
- 複合庁舎の2階は、利根川が氾濫しても人の安全を確保することができ、災害対策に要する機能を確保できる高さとします。



3 防災拠点

- 大地震後、構造体の大きな補修をすることなく利用することが可能で、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図れる耐震性・安全性を確保します。
- 関係課を集約し、災害時における早期復旧体制を構築します。また、施設のライフライン機能として、太陽光発電設備、非常用自家発電設備、受水槽等を2階以上に設置します。

4 整備方針

ア 公民館機能

1) 図書室

- 魅力ある蔵書を揃え、読書の楽しみを感じられる場所とします。
- Wi-Fi 環境を整備し、書架空間を利用した学習スペースを設けます。
- 子ども達の読書への関心を高めるために、学校図書室からも蔵書の検索等ができるシステムを構築します。
- 子ども連れの利用者に配慮し、キッズスペースを整備します。

2) 利用室

- 調理室には料理をするスペース、食事をするスペースを設け、明るくカジュアルなキッチンスタジオとして利用できる場所として整備します。
- 創作室は、陶芸や絵画等の活動ができる場所として、単独で整備します。
- 防音研修室は、音を気にすることなく多目的な利用ができる場所として整備します。
- 和室は、茶道やヨガなどの各種講座のほか、休憩・談話場所として気軽に使える場所とするなど、多目的な利用を想定して整備します。

3) 郷土資料

- 展示コーナーを設け、様々な町史や郷土に関する情報を発信します。

イ 窓口機能

1) 行政 DX、ICT の活用

- 行政手続のオンライン化（役場に来なくても受けられるサービス）を拡充します。
- 書かないワンストップ窓口を導入します。

2) プライバシー等への配慮

- 個人のプライバシー保護に配慮した個別相談室等を設置します。
- 車いすを利用する方に配慮し、窓口はローカウンターとします。
- 子ども連れの来庁者に配慮し、キッズスペースを整備します。

ウ 議会機能

1) 開かれた議場

- 段差のないフラットな平土間形式とし、議会の開催時以外は町民活動の場として活用できるよう整備します。
- 議会の内容をモニター中継し、複合庁舎内の共用スペースでも傍聴ができる仕組みを検討します。

エ 講堂機能

1) 整備方針

- 1 講堂は、町民等の意見を踏まえ、整備する
- 2 講堂の建設は、複合庁舎に組み込む
- 3 講堂の面積は、現状の利用頻度を鑑み、適正化（縮小）を図る

オ 各階機能

災害時より平時の利便性、快適性を重視し、高齢者等による施設内の移動に配慮した窓口配置とします。

5 概算事業費

事業概要

建設時期	R9年2月～
用途	事務所・集会場（庁舎+公民館+講堂）
敷地面積	21,200 m ²
建築面積	2,800 m ² （仮定）
延べ面積	4,240 m ²
規模	地上2階
構造形式	耐震構造（仮定）
構造種別	RC造（仮定）

概算事業費

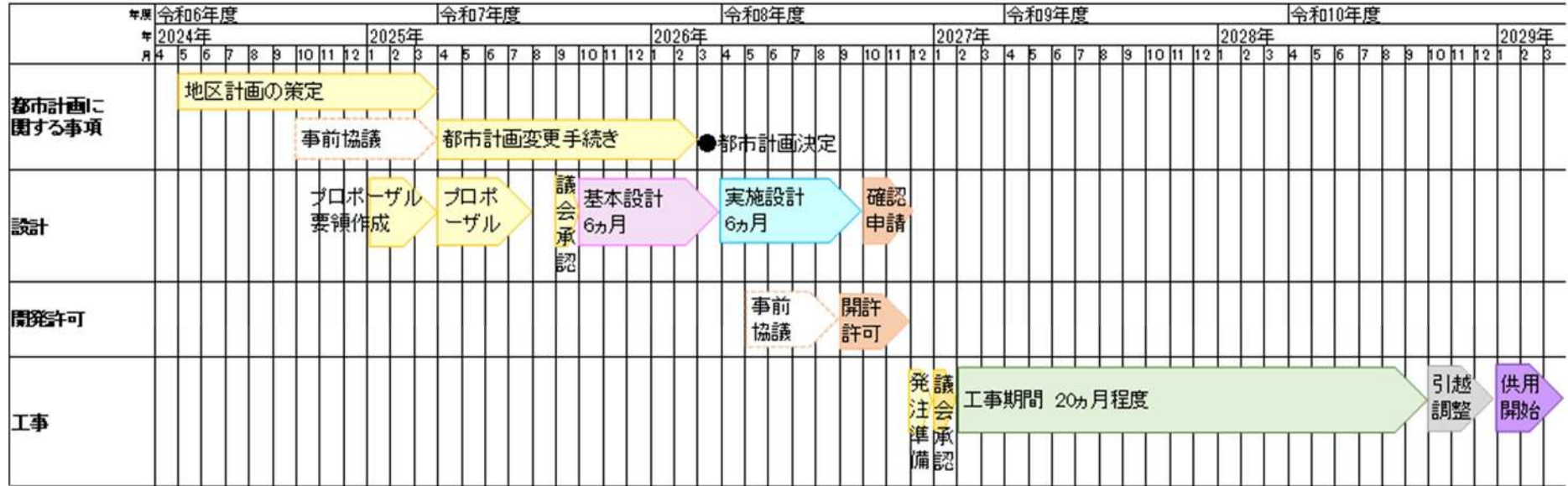
単位：千円

調査費用			13,200	測量調査・地盤調査・アスベスト調査		
設計・工事監理委託費用			312,400	国土交通省告示第98号による概算		
工事費用	本体工事	A 複合庁舎	2,002,000	2,277,000	2,959,000	(2)各費用の算定 参照
		B 附属建屋	275,000			313,500円/m ² (税込) 統計値より概算
	外構工事			495,000		基本構想を基に概算
	解体工事			187,000	統計値より概算	
関連費用	備品購入			68,000	142,400	庁舎部分 20,000円/m ² として算定
	引越関連			6,400		116人×55,000円/人として算定
	ICT関連			68,000		庁舎、講堂部分 20,000円/m ² として算定
	その他			-		
合計			3,427,000（税込）			

（令和5年度現在の価格を基に算定、今後の物価上昇は考慮せず）

6 事業スケジュール

従来方式



7 財政計画から見た複合庁舎整備

複合庁舎の整備は、町にとって非常に規模の大きい事業であり、将来に渡る財政運営にも大きく影響することから、次の点を考慮する必要があります。

- 1 今後の物価上昇の影響を考慮し、年度ごとに財政への影響を確認すること
- 2 長期的視点で財政運営を捉え、将来を見据えた歳出等の抑制を行うこと
- 3 基金の積立て及び町債の発行を計画的に行うこと